

静岡県農林漁家民宿自己診断チェックシート<開業支援用>

No	評価項目	自己診断項目	評価
1	事業認識	農林漁家民宿としての理念が明確である。	
2		その土地独自の資源を生かしている。	
3	社会性	人づきあいが好きで、それを楽しいと感じている。	
4		地域の人々とのネットワーク(交流・連携)が構築されている。	
5		近所づきあいを大切に、地域住民に対して配慮をしている。	
6	立地・環境	公共交通機関利用の場合や車でのアクセスがわかりやすい。	
7		民宿周辺は、ゴミなどがなく、清掃が行き届いている。	
8	屋外施設	民宿の入口から玄関までのアプローチや庭が、質感良く感じられる作りになっている。	
9		安全に駐車できるよう、十分なスペースを確保している。	
10	屋内施設	室内の清掃やメンテナンス(ドアの開閉・タンスの引き出し・備品等)が行き届いている。	
11		民宿内の共有スペースとプライベートスペースが分かれている(ドアの施錠の可否など)。	
12		シーツ・枕カバー等にほころび、しみ等がなく、常に清潔にしている(新品ということではない)。	
13		トイレ、洗面所、浴室は、清掃をこまめに行い清潔な状態を保つとともに、メンテナンスが行き届いている。	
14		トイレは、水洗式、又はそれに近い設備がある。	
15		洗面所の家族用のタオルや歯ブラシ等と宿泊客が使用するタオル等が明確に分離されている。	
16		浴室の施錠ができる。または使用状況がわかる工夫をしている。	
17		脱衣所の脱衣籠・ドライヤー・鏡・ゴミ箱などの備品が用意されている。	
18		テーブルや囲炉裏等の家具・調度品の清潔感が保たれ、整理整頓されている。	
19		玄関・廊下・客室・浴室・洗面所・トイレなどで、引き戸・手すり等の設置や段差解消を行っている。	
20	安全管理	消防署の指導に基づき、必要とされる設備(火災報知機、防火カーテン、誘導灯等)を適切に設置している。	
21		耐震診断を受けている(昭和56年5月31日以前に建築された木造住宅の場合)。	
22		家具などに、転倒防止措置を実施している。	
23		地震、津波等の災害発生時の避難場所を理解し、誘導経路及び所要時間を確認している。	
24		消防署、病院、保険会社等の連絡名簿を作成している。	
25		救急箱(薬)があり、薬の在庫管理をしている。	
26		旅館賠償責任保険に加入している。	
27		懐中電灯、ラジオを備えるとともに、水・食料を備蓄している。	
28	窓・壁などの建物の破損や、壁紙の剥がれ、障子の破損等がないか確認している。		
29	ホスピタリティ	周辺の観光地や、その土地の歴史、文化、見所などの質問に答えられる。	
30		館内に周辺地域のパンフレットなどを用意している。	
31		自家製野菜や手作りの加工品などがある。	
32	地元の農林水産物や郷土料理を取り入れるなど、地域の特徴を生かすよう工夫している。		
33	体験メニュー	自然・文化・歴史等を活用した、その地域ならではの体験プログラムがある。	
34		体験時、事故等の緊急事態が発生した場合の対処方法(緊急連絡網)が明確になっている。	
35		各種体験において、担当者或いは責任者を明確に定めている。	
36	情報・案内	予約の電話が常に受けられるよう、電話がつかないことがないようにしている。	
37		インターネットのホームページを開設している。	
38	価格設定	宿泊費に何が含まれているか明確に説明できる。	
39		飲物代金や体験料金などが、明確に示されている。	
40	地域連携	農家レストランや農産物直売所、体験施設、観光施設などとの連携がとれている。	

※評価欄に「○」或いは「×」を記入してください。